

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2019年度第6回常任委員会 議事録

- 1 日時：2019年9月20日(金) 16:00~19:30
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室
- 3 出席者の確認

常任委員総数8名のうち、常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：小美野 剛（共同代表理事）

経済界：永井 秀哉（共同代表理事/欠席につき表決権委任：議長）

経済界：井川 紀道（欠席につき表決権委任：議長）

学識経験者：石井 正子

外務省：民間援助連携室長 佐藤 靖

NGOユニット：穂積 武寛（欠席につき表決権委任：小美野委員）

学識経験者：堀場 明子

事務局長：高橋 丈晴

オブザーバー

外務省：民間援助連携室 冨澤 麻琴

外務省：民間援助連携室 栗本 圭

議長は常任委員会規約の第3条により事務局長が務める旨を確認した。

第一部

4 審議事項

- (1) 第一号議案：第5回常任委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

- (2) 第二号議案：グローバル難民フォーラム（GRF）に向けたJPFの取り組みについて

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

GRFに参加するというJPFの方向性が承認された。

- (3) 第三号議案：各プログラム次年度対応計画について

1. アフガニスタン人道危機対応支援
2. イエメン人道危機対応支援
3. 南スーダン難民緊急支援
4. ミャンマー避難民人道支援
5. イラク・シリア人道危機対応支援
6. インドネシア・スラウェシ島地震・津波被災者支援
7. ベネズエラ避難民支援
8. アフリカ南部サイクロン被災者支援

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。但し、5.イラク・シリアに関しては現在ドラフト中のため、完成次第メール審議を行うこととした。

(4) 第四号議案：補正新CN方式実施要領について

審議の結果、以下の通りとした。

承認。

(5) 第五号議案：パキスタン干ばつ緊急支援プログラム開始に関する趣意書の答申案について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

不承認。

(6) 第六号議案：カテゴリー付与に係る承認申請内容の審議

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

(7) 第七号議案：西日本豪雨被災者支援2018プログラム期間延長について（非加盟団体向け）

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

（対応期間）

延長前：2018年10月9日～2019年9月30日

延長後：2018年10月9日～2020年3月31日

5 報告事項

(1) 財務状況の報告

事務局より、書面にて財務状況について報告した。

(2) 「休眠預金」 2019年度 資金分配団体決定後の予定

事務局より、「休眠預金」の資金分配団体に決定した場合の今後のスケジュールについて報告した。

(3) ADRA/JENに関する完了対応現状報告

・ADRA

事務局より、新たな資料の提出があり、現在確認中であることを報告した。

・JEN

事務局より、返還金を受領し、終了報告書について確認中であることを報告した。

また、以下について報告した。

① カテゴリー審査に係る要望について

② 再発防止策のモニタリング実施状況について

③ 「シリア難民に対する緊急水衛生環境改善事業」について

(4) インドネシアモニタリング報告

事務局より、8月にインドネシアで行ったモニタリングの結果を報告した。

(5) イエメンICANモニタリングについて

事務局より、現地でリアルタイムモニタリングが実施され、9月下旬に報告書が提出される予定であることを報告した。

(6) 国際医療技術財団（JIMTEF）の新規加盟について

事務局より、『公益財団法人 国際医療技術財団』の新規加盟について報告した。

なお、事務局より、9月15日にメール審議にて承認された台風15号への対応につき、現在の状況を報告した。

メール審議で決定された内容は以下の通り。

プログラム名：台風15号被災者支援2019

予算：5,000万円（民間資金）

期間：3ヶ月

第二部

6 審議事項

(1) 第一号議案：(1) イラク・シリア人道危機対応支援にかかる事業計画書の承認

〈SCJ〉レバノンにおけるシリア難民の子ども保護事業（第4期）

結果：助成審査委員会での条件を満たしたとして、承認。

助成審査委員会での結果：条件付き承認。

助成審査委員会での条件：

1. 同コンポーネント内の活動として連携することが望ましいため、子ども保護グループと生計活動支援の連携について、より明確に追記すること。
2. 出口戦略を念頭に、本事業が最終期であることに鑑みて、行政（地方自治体）、ホストコミュニティ、現地提携団体との持続発展性の強化に向けた連携について、成果目標やコミットメントを追記すること。

〈NICCO〉ヨルダンにおけるシリア難民及びヨルダン人を対象とした緊急越冬支援2019-2020

結果：条件付き承認。

助成審査委員会での結果：条件付き承認。

助成審査委員会での条件：

1. 用途を限定しない現金給付という支援方法について、リスク管理の観点から、これまで国連やNGOをはじめとする人道支援アクターにおいて、どのような経験の基、どのような議論がなされ、どのような根拠に基づいて実施されているのかにつき、事業計画書内で十分に説明すること。
2. 前期事業のモニタリング結果を鑑み、「冬季の生活状況改善」という事業目的に沿った給付金の使用を担保するために、NICCOとして独自にどのように工夫して事業管理を行うのか、その具体的な方法を事業計画書内で説明すること。
3. 配布世帯数の30%を対象にモニタリングを行うこととしているが、支援の妥当性がよ

り精確に判断できるよう、モニタリング方法および対象者数を再考すること。

7 書面による報告

- ① NGOユニットからの報告
- ② 事業計画変更の報告
- ③ JPF事務局審議結果の報告
- ④ 固定資産処理の報告
- ⑤ 終了報告書審議結果の報告
- ⑥ コアチームの報告

8 次回以降の常任委員会開催日時と会場について

2019年度第7回常任委員会：2019年10月24日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室
2019年度第8回常任委員会：2019年11月19日(火) 麴町GN安田ビル4F会議室
2019年度第9回常任委員会：2019年12月20日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室
2019年度第10回常任委員会：2020年1月24日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室
2019年度第11回常任委員会：2020年2月21日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室
2019年度第12回常任委員会：2020年3月23日(月) 麴町GN安田ビル4F会議室

以上